



アフターコロナの移動空間と メディア環境

コロナウイルス感染症の拡大は移動の抑制と情報爆発（インフォデミック）をもたらした。本シンポジウムでは、5GやIoTの進展により、家電や車など生活に関わるあらゆる「モノ」がメディア化し、これまで以上に「情報過多」な社会の到来が予想されているメディア環境と移動空間の未来について、井出明氏の基調講演と先進的な取り組みを行う企業のケースを交えて議論する。

日時 2021年3月10日（水）13：30～16：30 **参加費無料**

配信方法 オンライン（YouTube配信） **※要事前申込**

申込方法 ※お申込者にはシンポジウムの配信リンク先をご連絡いたします。
右記サイトよりお申込み下さい。 <https://www.event-u.jp/fm/10963>



申込締切 2021年3月10日（水）12：00

基調講演

「COVID-19以降のモビリティ—ポストモダンのさらにその先—」
井出 明（金沢大学准教授）

企業事例：NTTコミュニケーションズ、電脳交通、川崎重工業

お問合せ

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
TEL:03-3264-9420 E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp
URL: <http://riim.ws.hosei.ac.jp>





アフターコロナの移動空間とメディア環境

プログラム

議題		発表者
		司会：橋爪 絢子（法政大学社会学部専任講師）
13:30～ 13:35	開会挨拶	藤代 裕之（法政大学社会学部教授、法政大学大学院メディア環境設計研究所所長）
13:35～ 14:35	基調講演	「COVID-19以降のモビリティ —— ポストモダンのさらにその先——」 井出 明（金沢大学准教授）
14:35～ 14:50	質疑応答	コメンテーター：藤代裕之
14:50～ 15:00	休憩	
15:00～ 15:45	企業事例 紹介	「スマートモビリティとメディア環境」 松田 達樹（NTTコミュニケーションズ） 「MaaSで支える高齢化社会と、その鍵となるタクシーのDXとは」 近藤 洋祐（電脳交通） 「アフターコロナの公共交通における移動体験の変化」 平林 宏介（川崎重工業）
15:45～ 16:30	議論	企業事例の登壇者によるパネルディスカッション モデレーター：宇野 斉（法政大学社会学部教授）



井出 明（金沢大学准教授）

1968年生まれ。京都大学経済学部卒、同大学院法学研究科修士課程修了、同大学院情報学研究科博士後期課程指導認定退学、博士（情報学）。近畿大学助教授・首都大学東京准教授・ハーバード大学客員研究員などを歴任し、現職。

日本に「ダークツーリズム（災害や戦争の跡をめぐる旅）」を広めた気鋭の観光学者。ITと観光の関係を探求する「観光情報学」をテーマにした著作も多い。主著「ダークツーリズム 悲しみの記憶を巡る旅」（幻冬舎新書）、「ダークツーリズム 拡張 近代の再構築」（美術出版社）など。